

⑤0 上越市市民交流施設高田公園オーレンプラザ建設事業

受賞機関 上越市

キーワード 複合機能で地域の活性化、市民との協働

全建賞審査委員会の評価ポイント

誰もが気軽に使える新たな拠点施設の整備と中心市街地の活性化を目的に、市民が集い語らう交流施設としてホール施設、公民館施設、地域子育て支援施設の複合施設を整備した事業。

24回にも及ぶワークショップにより、今までの施設利用の枠を超えた「重ねづかい」、緩やかに繋がる平面計画、公園との連続性等により、立地条件と複合化を最大限に活かした新たな市民の交流施設となっている点が評価された。

1. はじめに

上越市は新潟県の南西部に位置する都市で、中心市街地である高田地区では、歴史的建造物や文化施設などが多いものの、空洞化が進み求心力を失いつつある。また、市民活動の場の不足、既存公民館の老朽化、子育て支援や屋内型の子供の遊び場の要望など新たな拠点施設の整備が求められていた。

こうした背景から、「市民と共に創り上げていく」をモットーに、誰もが気軽に使える新たな活動拠点の整備と中心市街地の活性化を目的とした、市民が集い語らう交流施設を整備することとなった。

建設地は、文化・スポーツ施設があり、散歩、スポーツ施設の利用者、通学など様々な方が利用する高田公園の南堀に面する場所を選定した。

2. 事業の概要

本施設は、ホール施設、公民館施設、地域子育て支援施設から構成される複合施設である。

各施設の利用者の代表や高校生とともに延べ24回に及ぶワークショップや見学会を行い、複合施設であるからこそできること、多目的ホールや共用部の利用方法、施設の運用方針などを話し合った。その結果、今までの縦割りの施設利用の枠を超えた「重ねづかい」の提案や、



公園との連続性を意識した南側テラス

中庭を中心に共用廊下を配置することで各施設が緩やかに繋がる平面計画、公園利用者が施設内を散歩コースのように立ち寄れる公園と連続性のある施設配置など、立地条件と複合化を最大限に活かした新たな市民交流施設が生まれた。

3. 事業の成果

ワークショップでは、各利用団体の求める理想が語られたが、限られた施設規模の中ですべてを実現することは困難であった。話し合いを重ねることで、防音スタジオでダンスや卓球等の公民館活動を行う提案や、ホールから中庭までを一体的に利用できるように開口部の工夫など、特定の用途にこだわらない「重ねづかい」という複合施設の利点を生かした利用形態が可能となった。また、中庭を中心とした共用廊下からは各諸室の活動の様子も見ることができ、各施設を繋ぐだけでなく、新たな活動を誘発するような効果もある。

さらに、公園内での立地を生かし、多くの方々が立ち寄りやすいように複数のエントランスを設け、そこに繋がるホワイエ、カフェは散歩コースの一部として利用できるだけでなく、大開口を設けることで室内にしながら豊かな自然が享受できる。



多目的な利用が可能なホール・中庭に面したロビー

4. おわりに

供用から間もなく1年が経過するが、交流スペースで語らう学生、散歩中にホワイエやカフェに立寄りの方など、特定の目的がなくても誰もが立ち寄りやすい市民憩いの場となっている。中庭でのお茶会、スポーツイベントでのエントランス広場の活用など、共用空間の多岐にわたる利用も広がっており、新たな可能性を持つ市民交流の場となることを期待している。